

公表:令和5年3月1日

事業所名 アプリ児童デイサービスみずほ台

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		室内が広いのと区切れる場所もある為適切なのではないかという意見が出ました。	
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2		日による利用者の人数と職員の比率が厳しい日もある為、1人でも職員が増えると適切なのではないかという話になった。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			設備に関しては配慮できているので適切で一致した。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	2		生活空間は問題ない。子ども達の年齢層に関して幅が広いが、年齢に合わせた対応ができています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			朝礼や終礼での情報共有から改善策を見出して行っているため参画出来ている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		保護者の意見があまりないために、改善の箇所を判断するのが推測などになってしまうという意見が出た。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	4		どこに公開されているのかわからない人が大半だった。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		外部評価で業務にどう影響しているのかを把握して改善に繋げている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			研修や職員会議は繁忙期以外は、月に1度行われているので確保できている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			定期的に支援の振り返りを全体で行い、評価と改善を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			各児童ごとに個々に合わせた適切なツールを考案し使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	4		正社員の職員は理解していたが、パート職員が理解できていない事が多かった。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	3		毎日の朝礼と終礼で行動内容を共有し、支援方法の振り返りと改善を行っている。	状況によっては支援方法にばらつきが出てしまうこともある。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			日々の営業や月1の会議の中で意見を出し合い、固定化しないよう発案もしている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			毎日違うレクリエーションを行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			個別と集団での課題を盛り込み、各自に合わせたレベルでの支援課題を設けた計画書の作成を行っている	

	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			日の朝礼にて各自の担当児童や業務、特記事項、レクリエーションの内容を共有し、全員が把握した上で1日の営業を始めている。	
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			毎日の終礼にて児童の変化や保護者の方との申し送り、支援課題への反省点や改善策などを話し合い、次回の支援に繋がるよう努めている。	
	⑬	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			毎日児童の個別経過記録を取り、日々の変化や支援内容の結果等を記入し、記録として残し活用している。	
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3		相談員さんとも定期的に電話や対面を通して情報共有を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	3	5		あまりわからない職員が多数いた。	もう一度内容を話し合い理解をしていくように会議などで改善していく
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	3		連絡などは多くとっている。	
	⑰	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	3		社員はどう整っているかわかるが、パート職員があまり把握していなかった現状があったので、再度会議で深めていくことになった。	
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7			児童に対しての支援は整っている。	
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			相互に情報共有などは行っている。	
	⑲	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	3	理解している人とできていない人が分かれた。	
	⑲	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	3	地域の研修などには参加したりしているが専門的などでの研修などは今後行っていきたいという意見が出た。	
	⑲	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			7	交流の機会はない。	
	⑲	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			7	コロナもあり参加していない。	
	⑲	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			保護者様との情報共有は細かく行っており共通で同じ支援が出来るように密に話している。	
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	3		支援を保護者様と話しながら行っている。	
保護者へ	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	3		正社員の職員は説明を行っているがパートの職員はわからないとのこと。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	3		パート職員が分からないことがあった。	基盤となる基礎を皆で話し合い改善していく
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			送迎時に悩みなど細かく聞くように心がけている。対策に関しては保護者様と連携を取って行っている。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	施設自体で行っていない。	

の 説明 責任 等	⑩	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			情報が共有され次第すぐに職員やパート職員で会議を行い問題に取り組んでいる。苦情などの対応は職員や施設長で対応の流れを決めている。	
	⑪	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			定期的に児童の活動内容などを作成していただいている。	
	⑫	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			鍵がかかっている場所での保管など行っている。	個人情報は徹底している。
	⑬	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			児童の変化があった場合はすぐに情報の共有を行い配慮している。	
	⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			7	地域住民との招待などをして交流はしていない。	
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3		周知できているのかという話に関しては職員はしているが、保護者にはどうかというところで意見が分かれた。	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			災害時の訓練は行っている。	
	⑰	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			児童の状況に関しては通う前にどのような児童なのか全体で話している。	
	⑱	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7			食物アレルギーの利用者がいない為わからないという意見だった。	
	⑲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハットのファイルがあるのでヒヤリハットが起こった時は共有している。	
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			研修機会は都度行っているため適切。	
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2		身体拘束を行う利用者はいないが説明は施設長が行っているのと記載している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。